

社会課題に真正面から取り組み、 資金・資産・資本の好循環を実現する

不確実性が高まる時代においては、資産や想いを安心して託すことができる信頼が不可欠であり、その土台となるのが受託者精神です。また、「挑戦と開拓」の精神を持つ企業風土で育まれた、専門性と多様性を備えた

人的資本が、託された想いを実現する原動力となります。当グループは、最適な選択肢の提示と意思決定の支援を通じ、社会の成長に必要な資金・資産・資本を、現在と未来の人々のために循環させていきます。

持続可能な社会

資産の可能性を開く – Cultivating assets –

価値創造のルーツ

日本の高度成長を支えた貸付信託

1950年代の日本では、戦後復興に向けて、電源開発や船舶建造といった緊急かつ重要な設備資金の調達が急務となっていました。こうした社会的課題に対し、家計の貯蓄を安定的な資金源として活用し、基幹産業へ巨額の長期資金を供給する仕組みとして誕生したのが、1952年に信託6社の創案により実現した「貸付信託」です。▶P.1

当時、定期預金（1年物）の金利が6%であったの

に対し、貸付信託（5年物）は9.5%という高金利を提供し、家計の資産形成にも大きく寄与しました。

1971年には、日本の経済発展と産業構造の変化に対応し、資金供給先をより幅広い産業分野へと拡大するなど、その役割をさらに広げました。

このように当グループは、社会課題の解決に挑戦し、新たな市場を開拓する存在であり続けてきました。

価値創造に向けた新たな取り組み

事業者の未来づくりへの挑戦を支援

投資家の関心が「収益性」に加えて「社会的意義」へと広がるなか、三井住友信託銀行は、2024年10月に「新型金銭信託〈フューチャートラスト〉」の提供を開始しました。この商品は、グリーンな社会の実現に貢献する事業者に長期安定的な資金を供給するとともに、個人投資家のプライベートアセット投資への関心を高め、プライベートアセットの民主化の実現に向けた足掛かりとなる商品です。▶P.43

また、インフラ老朽化への対応が喫緊の課題となる中、国内総合型インフラファンドの取り組みも加速

させています。2025年に組成した2号ファンドでは、企業年金基金が新たに参画するなど投資家層の裾野を拡大することで国内最大規模となる、1,200億円の資金調達を目指しています。

過去に役目を終えた貸付信託のように、商品は時代とともに変化しても、社会課題に挑み、投資家と事業者をつなぐという信託が担う本質的な使命は不変です。これからも地球生態系の保全や人権尊重を踏まえ、事業を通じて持続可能な社会の実現と企業価値向上の両立を図っていきます。

ファイナンシャル・ウェルビーイング

お客さまの想いを啓く – Exploring your story –

価値創造のルーツ

時を越えて「想い」を未来へつなぐ年金信託

大切なものを、未来を信じて託したい。そうした想いを実現するために、当グループは誕生しました。大切な資産や将来への願いを安心して託したいというお客さまの想いに応え、その実現を支えてきたことが、価値創造の原点です。

信託の多彩な機能のひとつに、年金信託に代表される「時間転換機能」があります。信託銀行は、企業年金や公的年金を受託し、新入社員から定年までの

40年以上にわたり、お客さまとの長期の信頼関係に基づき運用・管理を行っています。

当グループは、1962年の適格退職年金制度の誕生以降、個人のお客さまの資産形成と老後の安心・安全に貢献してきました。また、年金基金や金融法人といった機関投資家のお客さまの長期運用ニーズに基づき、資金を必要とする事業者の未来づくりへと橋渡しを行っています。

価値創造に向けた新たな取り組み

投資家の将来への漠然とした不安を軽減

三井住友信託銀行は、国内最大の企業年金受託残高を誇り、確定拠出年金（DC）では約6,100社・約175万人の加入者にサービスを提供しています。年金業務で培った顧客基盤と専門知識を活かし、運営管理を受託する企業の社員に対する金融経済教育・資産形成支援に注力しています。

金融教育セミナーでは、普段の生活で意識することのない年金を資産形成に組み入れて学んでもらうことで、より幅広い領域での金融リテラシーの向上を支援しています。

また、スマートフォンアプリ「スマートライフデザイナー」を活用することで、お客さまのニーズやライフプランに合った提案を行います。このアプリでは、家計や資産を一元管理することができ、家族構成や収入などを入力することで、老後資金の見通しも試算することができます。

当グループは、これまで培った専門性とデジタルの力を融合し、生涯にわたる資産形成・管理・承継を支えていくことで、お客さまのファイナンシャル・ウェルビーイングの実現に貢献していきます。